

取扱説明書(いすゞ編)

G-scvu

1
2
3
5
6
17 18
20
21
25
28
29
32
34
35
38

ご使用になる前に

はじめに	2
安全にご利用になるために	3

C-SCAN ご使用になる前に

はじめに

本取扱説明書では、いすゞ車の診断機能に関してご説明させていただきます。 ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。 本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

C-scn 安全にご利用になるために

ご使用になる前に

- ■本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- ■本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産 への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記 号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。





本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、 被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。





● いすゞ車または、いすゞ製造のOEM車以外に使用しないでください。



作業サポート機能	6
≪作業サポート「DPD強制再生」≫	
≪作業サポート「DPD強制ゆっくり再生」≫	
≪作業サポート「DPD再生データリセット」≫	
≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫	
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫	21
≪作業サポート「インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)」≫	25
≪作業サポート「MAF補正データ読込み/書込み(ECU交換時)」≫	
≪作業サポート「Q調補正データ読込み/書込み(ECU交換時)」≫	
≪作業サポート「MAF補正データ確認」≫	
≪作業サポート「MAF補正データサービスモード」≫	
≪作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」≫	
≪作業サポート「Q調補正データ確認」≫	
≪作業サポート「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」≫	
≪作業サポート「エンジン始動回数書込み(スタータ交換時)」≫	



作業サポート機能

警告

- 作業サポートはいすゞのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容 を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行し てください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。 車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 - 1. 車両停止状態。(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)
 - 2. ブレーキペダルを踏込む。
 - 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。
- 1)診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して「MTER --- 」ボタンを押してください。

🗀 診断メニュ	> エンジン	+ 0
•	● 自己診断	•
	━ データ表示	•
	 保存 データ表示 	•
*	👄 アクティブテスト	•
•	━ 作業サポート	•

[〈]図:診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して

ボタンを押してください。

🛑 診断メニュ	1-> Iンシン	+ 0
•	■ DPD強制再生	•
	■ DPD強制ゆっくり再生	Þ
	■ DPD再生データリセット	Þ
*	━ インジェクターIDコート [*] 確認	Þ
•	● インジェクターIDコート [*] 登録	

〈図:エンジン作業サポート項目選択画面〉

DPD強制再生 :	DPD強制再生を実施します。 ※所要時間 = 約20分
DPD強制ゆっくり再生 :	DPD強制ゆっくり再生を実施します。 強制再生に比べてDPDへの負荷を軽減して再生を実施します。 ※所要時間 = 約120分 ※一部の車両には本機能は搭載されていません。
DPD再生データリセット :	DPD交換時、またはDPD再生を行う際に使用します。
インジェクターIDコード確認 :	各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。
インジェクターIDコード登録 :	インジェクター交換時、ECUIこインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
インジェクターIDコード 読込み/書込み : (ECU交換時)	ECU交換時、インジェクターIDコードを自動で読込み/書込みを行います。
MAF補正データ確認 :	MAFの補正データの確認する際に使用します。
MAFデータサービスモード:	MAF交換時、MAFの補正データを設定する際に使用します。
MAF補正データ 読込み/書込み : (ECU交換時)	ECU交換時、MAF補正データを自動で読込み/書込みを行います。

Q調補正データ確認	:	Q調補正データの確認する際に使用します。
Q調補正データ読込み/ 書込み(ECU交換時)	:	ECU交換時、Q調補正データを自動で読込み/書込みを行います。
サプライポンプ 学習値クリア	:	サプライポンプ学習値の初期化を行います。
エンジン始動回数 書込み(ECU交換時)	:	ECU交換時、ECUにエンジン始動回数を登録する際に使用します。
エンジン始動回数 書込み(スタータ交換時)	:	スタータ交換時、ECUにエンジン始動回数を登録する際に使用します。
アクセル学習データ (プログラミング)	:	ECU交換時、アクセルペダル位置を学習させる際に使用します。
アクセル学習データ (強制プログラミング)	:	ECU交換時、アクセルペダル位置を強制的に学習させる際に使用します。



〈図:HSA/CFS作業サポート項目選択画面〉

キ [•] ヤシフト,セレクトストローク 学習	:	ギヤコントロールレバー、シフトおよびセレクトストロークの学習の際に使用します。
クラッチフリークラッチトルク点 位置学習1	:	初期のクラッチトルク伝達点位置を学習します。
クラッチフリークラッチトルク点 位置学習2	:	初期のクラッチトルク伝達点位置を学習します。 ※1の方法で上手くいかない場合はこちらを試してください。
新品クラッチディスク使用開 始クラッチ位置学習	:	新品クラッチ交換時、クラッチ摩耗警報を行うための 基準となる新品クラッチの位置を学習します。



〈図:Smoother作業サポート項目選択画面〉

Smoother初期学習	半クラッチとトランスミッションギヤ選択/シフト位置学習を同時に学習します
マニュアル半クラッチ学習	マニュアル半クラッチを学習します。
トランスミッションキ・ヤ選択シフ ト位置学習	トランスミッションギヤ選択シフト位置を学習します。
半クラッチ位置調整機能	半クラッチ位置調整機能を学習します。
スピート・メータト・リフ・ンキ・ヤ学 習	スピードメータドリブンギヤを学習します。
車型のプログラム	エンジン型式、トランスミッションタイプを登録する際に使用します。
PTO要求エンジン回転数	PTO要求エンジン回転数を登録する際に使用します。
スピート・メータキ・ヤのフ゜ロク・ラム	スピードメータドリブンギヤ枚を登録する際に使用します。
タイヤサイス[・]のフ[°]ロク[・]ラム	タイヤサイズを登録する際に使用します。
タイヤ補正率のプログラム	タイヤ補正率を登録する際に使用します。
ファイナルギヤ比書換え	ファイナルギヤ比を登録する際に使用します。
ABS装着のプログラム	ABSステータスを登録する際に使用します。



〈図:BCM作業サポート項目選択画面〉

- リモートキーレス エントリー登録 : リモートキーの登録を行います。
- **キーレスエントリー** : リモートキーの消去を行います。 登録クリア
- **アワーメーター情報クリ** ア : アワーメーター情報をクリアします。
- 燃料表示データクリア : 燃料表示をクリアします。



〈図:みまもり作業サポート項目選択画面〉

みまもり全データクリア : みまもり全データをクリアします。

≪作業サポート「DPD 強制再生」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『DPD強制再生』を選択して (*****) ボタンを 押してください。

👝 診断メニュ	1-> エンシン	•••••••	۵
•	■ DPD強制再生	÷	
	■ DPD強制ゆっくり再生	Þ	
	■ DPD再生データリセット	Þ	
*	━━ インジェクターIDコート [*] 確認	►	
•	● インジェクターIDコート [*] 登録	•	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPD強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

l	▶ エンジン > DPD強制再生	+ D
	≪概要≫ DPD強制再生を実施します。	
	≪注意≫ 1.作業サポート内の「DPD再生デー効セット」を行なってから実行して下さい。 2.DPD強制再生完了までの所要時間は、約20分です。 (但し、所要時間は外気温度により異なります。) 3.強制再生を行うとDPDに負荷がかかります。	
ĺ	Ok	

〈図:注意メッセージ画面 DPD強制再生〉

3) 『DPD強制再生』の警告メッセージ画面に移ります。

警告メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

▶ エンジン > DPD強制再生	+ 🖸
《警告》	
1.枯れ草や紙くずなど、燃えやすいものがない安全な場所に停車して下さい。	
2.97トレハーをF/N位置にして、確実にハーキングアレーキレハーを引いて下さい。 コールにやけてないが実践にして下さい。	
3.エノソフをパイトソフソ 1ん感にしし 下さい。 ・アイトリックロットロールフロ・ナースていいショロ転を上げている場合は 左→杯に 更し	
エンジン回転数を下げて下さい。	
・アイトリンゲストップ 装備車はアイトリンゲストップ スイッチをOFF(解除)にして下さい。	
・冷凍機及びPTOのスイッチをOFFにして下さい。	
 [OK]ホタンをタッチして次画面で車両側のDPDスイッチを押すとDPD再生が開始します。	
DPD再生を実行しますか?	
Ok キャンセル I I I	

〈図:警告メッセージ画面 DPD強制再生〉

4) 『DPD強制再生』の実行画面に移ります。

DPD強制再生中の状態が表示されます。『次に従って操作してください』の操作 に従い、車両側のDPDスイッチを押すとDPD強制再生が始まります。

▶ エンジン > DPD強制再生		+ D
項目名	現在値	単位
エンシン回転速度	640.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	85.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	75.0	°C
DPD 排気差圧	0.0	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モート*	80.0	
DPD 再生状態	DPD再生スイッチを	
■次に従って操作して下さい	押してください	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	<u>‡</u>	樂作内容
再生中止		

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

※ 注意と補足※

・ 以下、DPD再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。



<図:DPDスイッチ>

※ 注意と補足※

・上記のDPDスイッチは車両により配置位置、形状が異なる場合があります。

DPD強制再生開始後、自動的にエンジン回転速度が上がり、徐々に排気温度 2(酸化触媒前)、排気温度1(フィルタ前)が上昇します。

 エンジン > DPD強制再生 		+ 0
項目名	現在値	単位
エンシン回転速度	736.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	175.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	150.0	°C
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	220.0	
DPD 再生状態	再生予備昇温中	
■次に従って操作して下さい	操作不要	
再生中止		

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

▶ エンジン > DPD強制再生		+	D
項目名	現在値	単位	Т
エンシシ回転速度	992.0	RPM	
排気温度2(酸化触媒前)	590.0	°C	
排気温度1(フィルタ前)	335.0	°C	
DPD 排気差圧	0.1	kPa	
DPD 再生スイッチ	OFF		
DPD モード	270.0		
DPD 再生状態	再生中(1)		
■次に従って操作して下さい	操作不要		
再生中止			D

[〈]図:実行画面 DPD強制再生〉

5)約20分経過後、エンジン回転速度が下がり、『DPD再生状態』が『浄化判定中』

となります。『次に従って操作してください』の操作に従い、エンジン回転速度を2 000RPM以上にします。

 エンジン > DPD強制再生 		+ 0
項目名	現在値	単位
エンシン回転速度	624.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	525.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	285.0	°C
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD T-N	10.0	-
DPD 再生状態	净化判定中	
■次に従って操作して下さい	2000RPM以上	
		操作内容
再生中止		

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

6) 『DPD再生状態』が『再生完了』と表示されましたらDPDの再生が完了し、『DPD 強制再生』の完了画面に移ります。

 エンジン > DPD強制再生 		+ 0
項目名	現在値	単位
エンシン回転速度	617.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	460.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	238.0	°C
DPD 排気差圧	0.0	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	30.0	
DPD 再生状態	再生完了	
■次に従って操作して下さい	操作不要	
再生中止		

〈図:完了画面 DPD強制再生〉

7) DPD再生完了メッセージが表示されますので、
 生を完了してください。

Iンジン > D)PD強制再生		+ D
 DPD再生が9	宅てしました。		
Ok			

〈図:完了画面 DPD強制再生〉

8) やむを得ず、『DPD強制再生』を途中で中止する場合は <u>再生中止</u> ボタンを押 してください。

▶ エンジン > DPD強制再生		+ 0
項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	640.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	85.0	°C
排気温度1(フィルタ前)	75.0	°C
DPD 排気差圧	0.0	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	80.0	
DPD 再生状態	DPD再生スイッチを	
■次に従って操作して下さい	押してください	
再生中止		

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

9) 再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

■ ^{Ok} ボタンを押してDPD強制再生を中止してください。

▶ エンジン > DPD強制再生	+	Ō
車両側のDPDスイッチを押して下さい。		

〈図:再生中止画面 DPD強制再生〉

※注意と補足※

- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

≪作業サポート「DPD強制ゆっくり再生」≫

※注意と補足※

- ・基本的な作業の流れは「DPD強制再生」と同様となります。
- ・「DPD強制再生」に比べてDPDへの負荷を軽減して実施します。
- 所要時間は約120分です。
- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

≪作業サポート「DPD再生データリセット」≫

━=診断メニュ	> Iンシシン	+	۵
•	● DPD強制再生	•	
	■ DPD強制ゆっくり再生	►	
	■ DPD再生データリセット	•	
	━ インジェクターIDコード確認	►	
•	● インジェクターIDコート [*] 登録	•	-

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 確認メッセージ画面に移ります。確認メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ ペレンを押し、画面の指示に従ってDP
 D再生データリセットを実行してください。



〈図:確認メッセージ画面 DPD再生データリセット〉

3) DPD再生データリセット完了のメッセージが表示されます。画面の指示に従って 操作し、 ペペパンを押してDPD再生データリセットを終了します。

エンジン > DPL	D再生デー刎セット	+ D
《概要》 DPD交換時、ま	▶ メッセージ	
IG ON(エンシンバ	リセットしました。	
再生デー効セット	「車種・システム選択画面」まで戻り、 IG SWを一度OFFして下さい。	
	再度ONする場合は、5秒間以上経過してから 行なって下さい。	

〈図:完了メッセージ画面 DPD再生データリセット〉

≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫

1)作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード確認』を選択して

🛑 🎼 御子二고	> エンシウ	+ D
•	● DPD強制再生	
	■ DPD強制ゆっくり再生	•
	■ DPD再生データリセット	•
	━ インジェクターIDコート [*] 確認	•
•	● インジェクターIDコード登録	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ パレンジェクターIDコード確認を終了してください。

▶ エンシシ > インジェウターIDコード確認	+ 0
InjectorIDコード(第1気筒):64DC-C20C-F2DD-F8F8-04FA-00A7	
InjectorIDコード(第2気筒):64FC-FC27-181B-252C-2822-2F6C	
InjectorIDコード(第3気筒):64EE-DE13-F4E7-04FF-2306-048E	
InjectorIDコード(第4気筒):64D8-BD0C-0F12-1F33-101A-3600	
Ok	

〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード確認(4気筒)〉

※補足※

6気筒エンジン(ギガ:6UZ1-TC,6WG1-TC、フォワード:6HK1-TC等)ではインジェクターI
 Dコードに6気筒分表示されます。

≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード登録』を選択して

● 記念断メニュ	1- > I)ŷŷ	+ 0
•	── DPD強制再生	•
	■ DPD強制ゆっくり再生	Þ
	■ DPD再生データリセット	Þ
*	━━ インジェクターIDコード確認	►
•	━ インジェクターIDコード登録	·····

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『インジェクターIDコード登録』の注意メッセージ画面に移ります。
 - 注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ



〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード登録〉

3) 交換するインジェクターの気筒を選択します。よろしければ ペパン ボタンを 押してください。

Iンジン > インジェクターIDコード登録	+ 0
 1:64DCC20CF2DDF8F804FA00A7 2:64FCFC27181B252C28222F6C 3:64EEDE13F4E704FF2306048E 4:64D8BD0C0F121F33101A3600 	
Ok _ ++>zu/	

〈図:気筒選択画面 インジェクターIDコード登録〉

※補足※

6気筒エンジン(ギガ:6UZ1-TC,6WG1-TC、フォワード:6HK1-TC)ではインジェクターIDコードに 6気筒分表示されます。

4) KEYBOARDを押して、インジェクターに刻印してある24桁もしくは30桁のインジ ェクターIDコードを入力します。よろしければ ボタンを押してください。

▶ エンシン > インジェウターIDコード登録	KEYBOARD			
交換する新品のインジェクタASSY頭部に刻印してある、 インジェクターIDコート(24桁の英数字)を直接読み、入力して下さい。 入力が完了したら、[OK]を押して下さい。		1	2	
		4	5	
	6	7	8	
	9	А	в	
,	C	D	E	
	F	<-	Enter	

〈図:IDコード入力画面 インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

IDコードを入力することでインジェクターの噴射量精度が向上し、排気ガス削減や出力が安定します。インジェクターには下記の2タイプがあり、それぞれIDコードの刻印が異なります。インジェクター上部に下記のようにIDコードが刻印されています。

(例1)エルフ 06モデル 4HL1-NAエンジンの場合



矢印の方向に読み、インジェクターIDコード 30桁をそのまま入力してください。

(例2)エルフ 07モデル 4JJ1-TCエンジンの場合



矢印の方向に読み、インジェクターIDコード(24桁)は赤枠内にIDコードが刻印されています。 24桁をそのまま入力してください。 5)入力したIDコードが正しければ _____ ボタンを押してください。ボタンを押す

とECUIこインジェクターIDコードを書込みます。

▶ エンシン > インジェクターIDコード登録	+ a
登録するコートは 64DCC20CF2DDF8F804FA00A7 で問題ないか確認して下さい。 登録する場合は、[OK]を押して下さい。	
Ok ++>>tu	

〈図:IDコード確認画面 インジェクターIDコード登録〉

8)書込み完了のメッセージが表示されます。
 ターIDコード登録を終了します。

Iンジン > インジン	バェクターIDコート	登録			+ D
書込みが完了し	ました。				
Ok	キャンセル		I	Ι	

〈図:完了画面 インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

誤ったインジェクターIDコードを入力しますと登録されませんのでご注意ください。

≪作業サポート「インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)」≫

┗=診断メニュ	> I	D9D	+	0
•		インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)	•	
		MAF補正データ確認	•	
		MAF補正データサービスモート	Þ	
		MAF補正データ読込み/書込み(ECU交換時)	•	
•	•	サプライポンプ学習値クリア	•	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)』の注意メッセージ画面に 移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。

書込み:G-scanからECUにインジェクターIDコードを書込みます。



〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード読込み/書込み〉

3) 3) ボタンを押すと注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ ペ ボタンを押してください。

▶ エンシン > インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)	← ∆
[OK]を押すとECUが記憶しているインジェクターIDコートを読込みます。	
 ≪注意≫ 読込みを行いますと以前にG-scanに記憶していたインジェクターIDコードは上書きされまご注意ください。 	ます。
Ok ++>>tu ++>>tu []	

〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード読込み〉

※注意と補足※

読込みを行いますと以前に記憶していたデータは上書きされますのでご注意ください。

4) 読込み完了のメッセージが表示されます。 ペー ボタンを押してインジェクタ

ーIDコード読込みを終了します。



〈図:完了画面 インジェクターIDコード読込み〉

5) <u>
書込み</u>
ボタンを押すと注意メッセージが表示されますので、内容をご確認い
ただき、よろしければ
<u>
へ</u>
ボタンを押してください。

▶ エンシウ > インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時) 🛛 🛛 🗲	D
[OK]を押すとG-scanが記憶しているインジェクターIDコートをECUに書込みます。 《注意》 IG ON、エンシン停止中のみ実行出来ます。 車両状態を確認してください。	
Ok ++>tell ++>tell I I	

〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード書込み〉

6) 前回インジェクターIDコードを読込んだ際の情報が表示されますので、内容をご 確認いただき、よろしければ ペ ボタンを押してください。

▶ エンシン > インジェクターIDコート 読込み/書込み(ECU交換時) 下記の条件で取得したデータをECU(ご登録します。	□ + 0
ISUZU エルフ NLR85 4JJ1-TC '06.11〜 (H18.11〜) エンシウ	
登録する場合は、[OK]を押して下さい。	

〈図:確認メッセージ画面 インジェクターIDコード書込み〉

※注意と補足※

データを取得した車種と書込みを行う車種が異なる場合、データの書込みに失敗する場合 がありますのでご注意ください。 7) 書込み完了のメッセージが表示されます。

ターIDコード登録を終了します。

▶ エンジン > インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)	+ 0
書込みが完了しました。	
OK _ ++>zu _ ++>zu	

〈図:完了画面 インジェクターIDコード書込み〉

≪作業サポート「MAF補正データ読込み/書込み(ECU交換時)」≫

≪作業サポート「Q調補正データ読込み/書込み(ECU交換時)」≫

※注意と補足※

- ・基本的な作業の流れは「インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)」と同様となります。
- ・ 読込みを行いますと以前に記憶していたデータは上書きされますのでご注意ください。
- ・データを取得した車種と書込みを行う車種が異なる場合、データの書込みに失敗する場合がありますのでご注意ください。

≪作業サポート「MAF補正データ確認」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『MAF補正データ確認』を選択して [***** ボ タンを押してください。



〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 現在のMAF補正値が表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ 「へ」、ボタンを押し、MAF補正データ確認を終了してください。

下記の画面ではMAF補正値は『1.000』を表します。(現在値×単位(1/1000)=1.000)



〈図:確認画面 MAF補正データ確認〉

≪作業サポート「MAF補正データサービスモード」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『MAF補正データサービスモード』を選択して



〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『MAF補正データサービスモード』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ ペレ ボタンを押してください。

▶ エンシシ > MAF補正データサービスモート	+ D
≪概要≫ MAFセンサー交換時、G-scanよりMAF補正テ~タの設定を行います。	
≪注意≫ IG ON、エンシン停止中のみ実行出来ます。 車両状態を確認してください。	
Ok ++)th [[

〈図:確認メッセージ画面 MAF補正データサービスモード〉

3) 選択値の内容をご確認いただき、設定する値のボタンを押してください。ボタン を押すと押した値を設定します。

下記の画面ではMAF補正値は『1.000』を表します。(現在値×単位(1/1000)=1.000)

▶ エンシシ > MAF補正データサービスモート	0 + D
選択値 4HL1-NA:NKR(ジャッキアップ車), NPR,NPS(リジットサス車):0.920 4HK1-TC:1.240 上記以外:1.000	< <
項目名	現在値 単位
MAF補正値	1000.0 1/1000
Ok 【 キャンセル 0.92 】 1.(0 1.24

〈図:入力画面 MAF補正データサービスモード〉

4)書込み完了のメッセージが表示されます。
 ボタンを押してMAF補正
 データサービスモードを終了します。

🕨 エンシン > MAF	補正データサ	ービスモート		+ 0
書込みが完了し	ました。			
Ok	キャンセル			

〈図:完了画面 MAF補正データサービスモード〉

≪作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値クリア』を選択して

●診断メニュ	> エンシシ	+ 0
•	━ インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)	•
	■ MAF補正データ確認	•
	━ MAF補正データサービスモート	•
*	■ MAF補正データ読込み/書込み(ECU交換時)	•
•	━ サプライポンプ学習値クリア	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『サプライポンプ学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ ペパーボタンを 押してください。



〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

3) 『サプライポンプ学習値クリア』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ ペパーボタンを押してください。



〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

4) クリア完了のメッセージが表示されます。 ボタンを押してサプライポン プ学習値クリアを終了します。メッセージの内容に従ってエンジンを暖機してサ プライポンプ学習値クリアの作業を完了してください。



〈図:確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

≪作業サポート「Q調補正データ確認」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『Q調補正データ確認』を選択して [***** ボ タンを押してください。



〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 現在のQ調補正データが表示されますので、内容をご確認ください。よろしけれ

ば Ok ボタンを押し、Q調補正データ確認を終了してください。

 エンシシ > 		+ D
項目名	現在値	単位
Q調補正データ1	8.0	
Q調補正データ2	7.0	
Q調補正データ3	10.0	

<図:確認画面 Q調補正データ確認>

≪作業サポート「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」≫



〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『エンジン始動回数書込み(ECU交換時)』の注意メッセージ画面に移ります。注 意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ



〈図:確認メッセージ画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

3) 現在のエンジン始動回数が表示されます。変更する場合には **・・**ボタンを 押してください。

IVYY > IVY	シ始動回数書込	み(ECU交換時)	- D
現在のエンシン始 21806 カウントで	動回数(よ す。		
この値を変更す	る場合には、[OK]	を押して下さい。	
Ok	キャンセル		

〈図:確認メッセージ画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

4) 画面左のボタンを押して、エンジンの始動回数を入力します。よろしければ 「へ」 ボタンを押してください。

▶ エンシン)> エンシン始動回数書込み(ECU交換時)			+ 0
エンシン始動回数を入力してください。 (設定範囲 0〜999999) ふ カが完てしましたを「OP1を押して下さい	1	2	3
VVINET GLOCES, [OK]ERPOC FECS	4	5	6
	7	8	9
	<-	0	Enter
Ok teve			

〈図:エンジン始動回数入力画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

5) 書込み完了のメッセージが表示されます。

始動回数書込み(ECU交換時)を終了します。

▶ エンジン > エンジン始動回数書込み(ECU交換時)	+	Ō
書込みが完了しました。		
Ok ++vz#		

〈図:完了画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

※注意と補足※

・ VIM(ビークルインターフェースモジュール)にも同様の機能があります。基本的な作業の 流れは「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」と同様となります。

●診断メニュ	$- > VIM(E^{-})\mu(2\sqrt{-7}-2E^{-})$	+ 0
•	■ エンジン始動回数書込み(ECU交換時)	×
•	━ エンジン始動回数書込み(スタータ交換時)	•
•		

〈図:作業サポート項目選択画面〉

≪作業サポート「エンジン始動回数書込み(スタータ交換時)」≫

※注意と補足※

- ・ エンジンスタータを交換した際に行う作業です。
- ・基本的な作業の流れは「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」と同様となります。
- VIM(ビークルインターフェースモジュール)にも同様の機能があります。基本的な作業の
 流れは「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」と同様となります。



株式会社 インターサポート

〒310-0803

茨城県水戸市城南1丁目6番39号

Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022

https://www.inter-support.co.jp https://g-scan.jp

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 0570-064-737 → ② (ナビダイヤル[※])

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 (ナビダイヤル[※])

Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2021年6月発行 第23版 本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。 本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。 G1PZFDN001-15-23